

道路占用。承認工事許可申請用

標準構造図

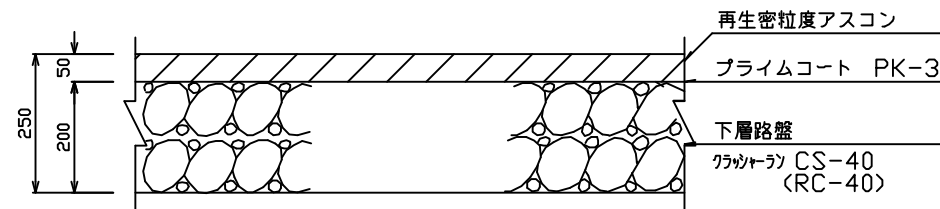
東海市 都市建設部 土木課

No.	図面名称	No.	図面名称
1	舗装工	2-8	横断暗渠・排水暗渠
1-1	舗装構成標準図 車道舗装	2-9	集水樹
1-2	舗装構成標準図 歩道舗装	2-10	L型側溝・L型樹
2	排水工	2-11	雨水取付管
2-1	側溝工事特記仕様標準図	2-12	街渠・街渠樹 (1)
2-2	PU2型側溝 (歩道用・防音ゴム付)	2-13	街渠・街渠樹 (2)
2-3	PU3型側溝 (車道用・防音ゴム付)	2-14	街渠・街渠樹 (3)
2-4	自由勾配側溝 (W=250・防音ゴム付)	3	その他
2-5	自由勾配側溝 (W=300・防音ゴム付)	3-1	地先境界(植栽)ブロック・視線誘導標
2-6	側溝補強		
2-7	横断側溝		

舗装構成標準図 車道舗装

アスファルト舗装

【一般道路（幅員4m未満）】

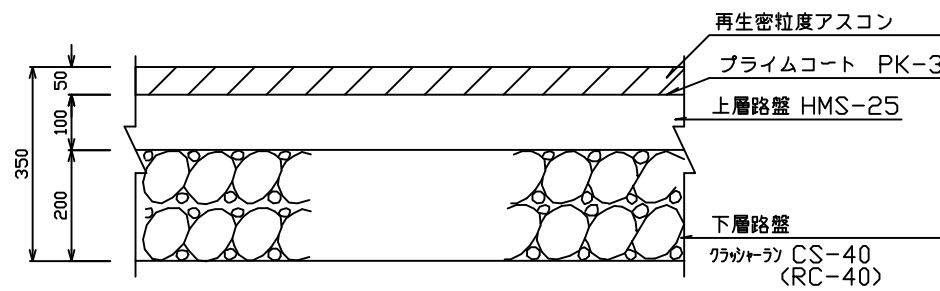


【幹線道路】

※幹線1級・2級、第四次緊急輸送道路、工業地域で重車両が頻繁に通行する道路については、表層に改質アスファルトII型を検討すること。

※幹線道路等の舗装構成は、事前に試掘調査し、舗装構成を確認すること。

【一般道路（幅員4m以上6m未満）】



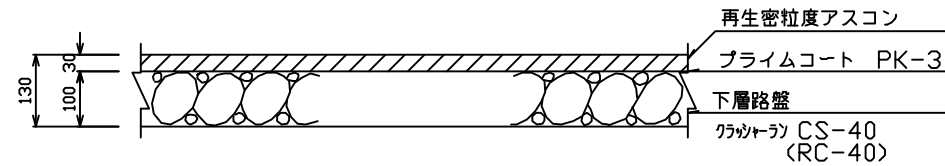
<注意事項>

- ※路床土は良質土とする。なお、軟弱地盤の場合は、路床改良すること。
- ※縦断勾配6%以上の区間は、滑り止め舗装（密粒ギャップアスコン（13））とすること。
- ※アスファルトコンクリートの材料の最大粒径は13mmを標準とするが、交通量の多い路線（N5交通以上）の車道・路肩については、最大粒径20mmを採用するものとする。

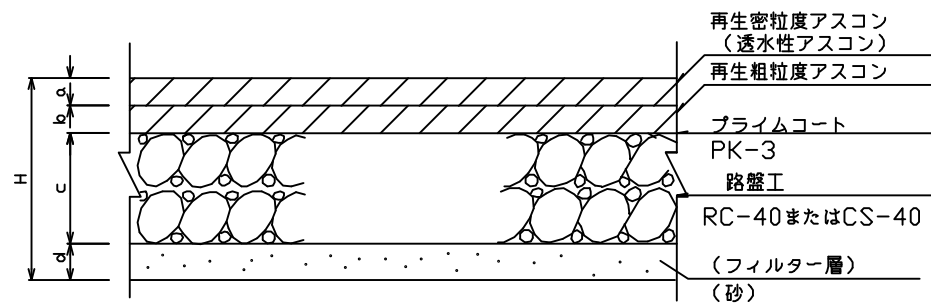
舗装構成標準図 歩道舗装

アスファルト舗装

【一般道路】



【乗入箇所】



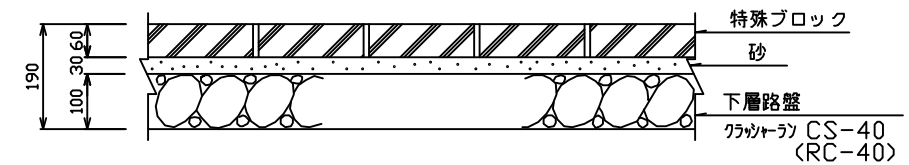
舗装構成 寸法表 単位: mm

種別	a	b	c	d	H
A型	50	-	250 (350)	<50>	300 (450)
B型	50	50	250	-	350
C型	50	100	300	-	450

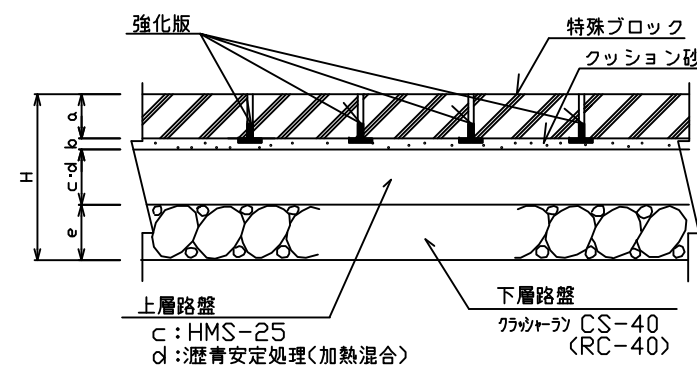
※括弧は、透水性舗装の場合の適用値を示す。

特殊ブロック舗装

【一般道路】



【乗入箇所】

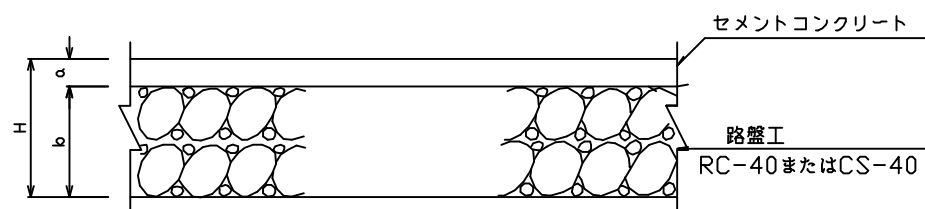


舗装構成 寸法表 単位: mm

種別	a	b	c	d	e	H
A型	80	20	100	-	100	300
B型	80	20	-	80	100	280
C型	80	20	-	100	200	400

コンクリート舗装

【乗入箇所】



舗装構成 寸法表 単位: mm

種別	a	b	H
A型	150	100	250
B型	200	200	400
C型	250	250	500

<注意事項>

- ※路床土は良質土とする。なお、軟弱地盤の場合は、路床改良すること。
- ※舗装構成は、路床のCBRがわかる場合、それによることができる。
- ※アスファルトコンクリートの材料の最大粒径は13mmを標準とする。ただし、乗入箇所におけるB型・C型のアスファルトコンクリートの材料の最大粒径は20mmを標準とする。

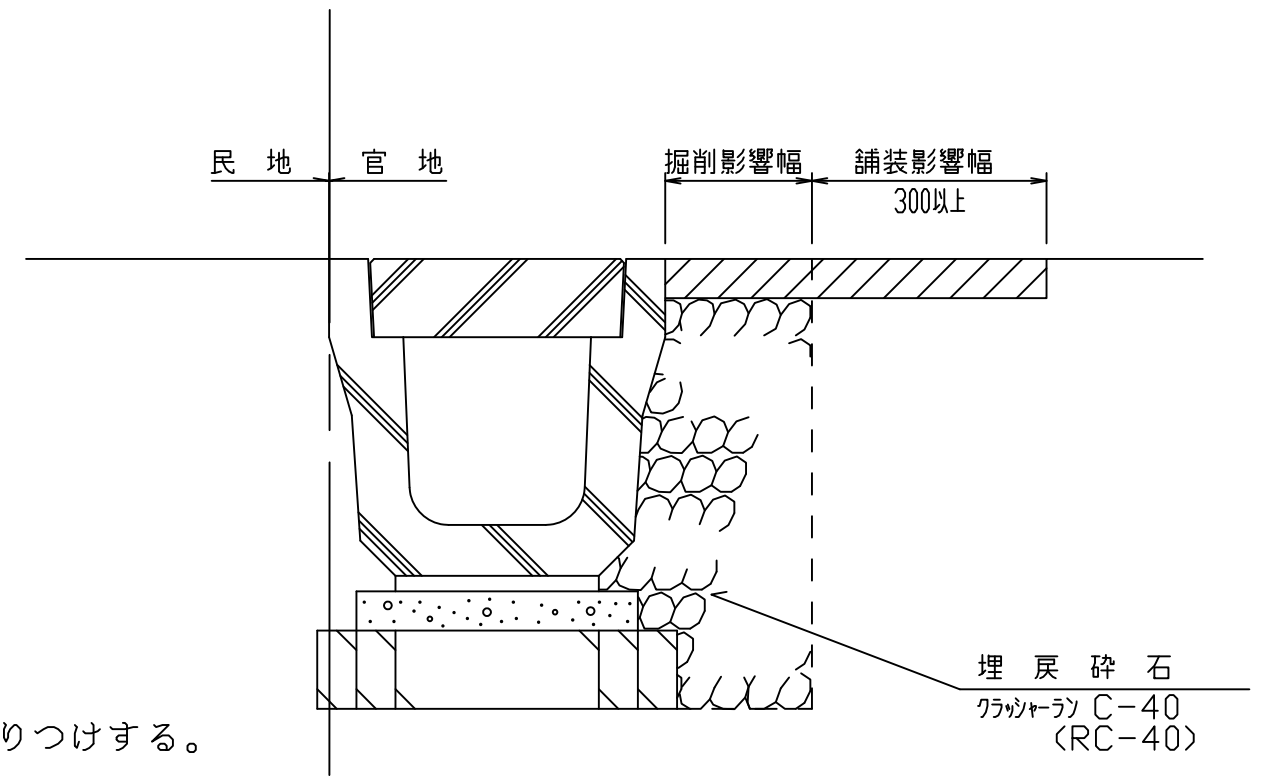
<乗入箇所の注意事項>

- ※舗装材料については、耐久性確保を目的として、原則、コンクリート舗装とする。なお、施工時に適切な転圧重機（振動ローラー1t級以上）を使用する場合に限りアスファルト舗装に代えることができる。
- ※透水性舗装は、既設歩道が透水性舗装の場合のみとする。
- ※生コンクリートの強度は設計基準強度 $\sigma_{28} = 21(N/mm^2)$ 以上とする。
- ※C型のコンクリート舗装の場合は、鉄筋を配置する。

側溝工事 特記仕様標準図

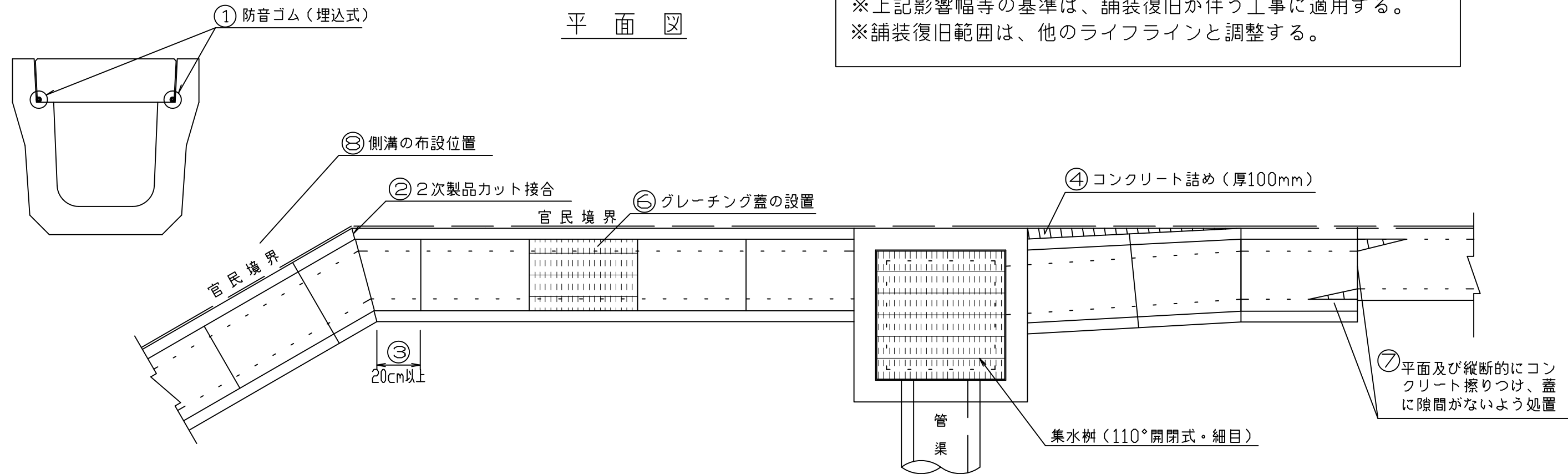
- ① 蓋やグレーチングは、ガタツキを防止するため、ゴム付きの製品とする。
- ② 折点等の接続は、製品をカットして接合する。ただし、自由勾配側溝は除く。
- ③ カット製品の最小寸法は、20cm以上とする。
- ④ 側溝と官理境界の間は、コンクリートを詰める。
- ⑤ 店舗駐車場等の出入口で、表面排水を側溝で受ける区間は、グレーチング蓋とする。
- ⑥ グレーチング蓋は側溝蓋 L=500mmの10枚に1枚、細目を使用する。
- ⑦ 新設側溝と既設側溝をやむを得ず接続する場合は、平面及び縦断的にコンクリートで擦りつけする。また、既設側溝との側溝蓋に隙間がないように処置する。
- ⑧ 新設側溝は、原則、官民境界沿いに布設するものとする。

側溝工 舗装復旧 標準断面図

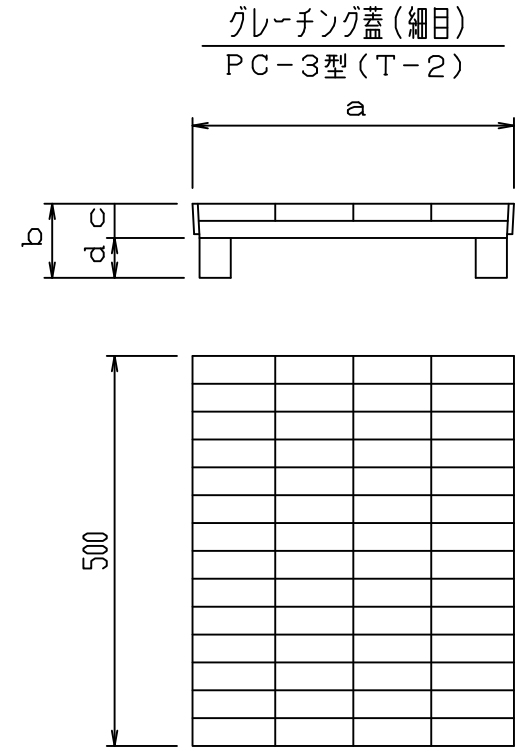
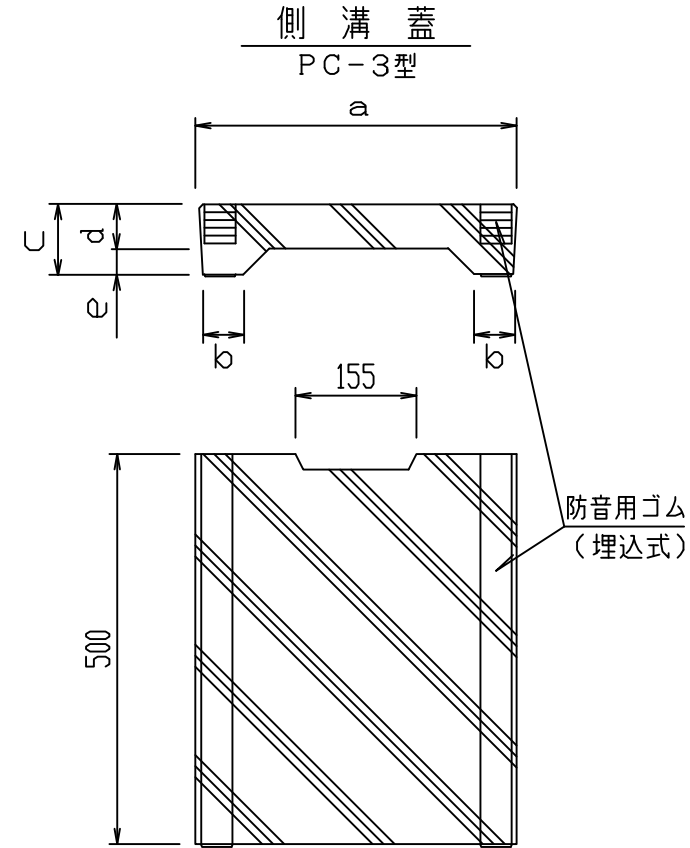
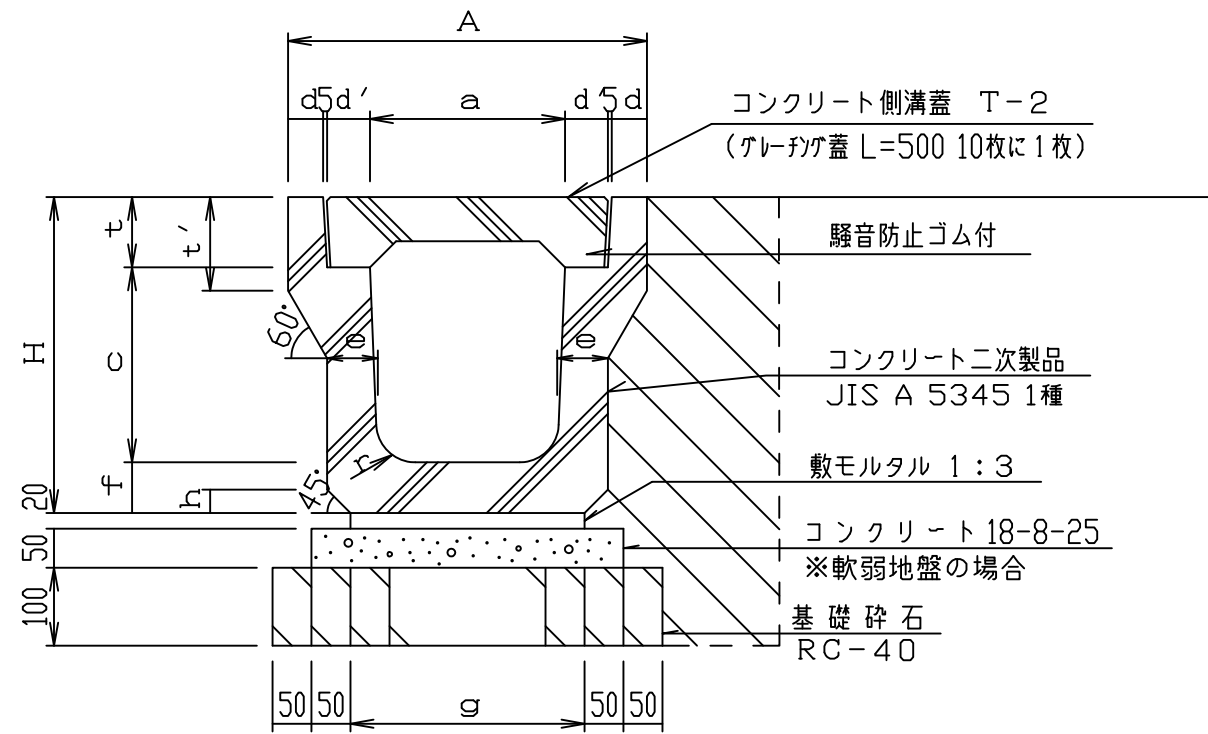


＜注意事項＞
 ※上記影響幅等の基準は、舗装復旧が伴う工事に適用する。
 ※舗装復旧範囲は、他のライフラインと調整する。

平面図



PU2型側溝（歩道用・防音ゴム付）



寸法表 単位: mm

呼び名	a	b	c	d	e
250	362	50	90	55	35
300	412	51	95	55	40
400	512	51	110	65	45
500	622	56	125	75	50

寸法表 単位: mm

呼び名	a	b	c	d
250	362	90	32	58
300	412	95		63
400	512	110	44	78
500	622	125		81

側溝工PU2型 寸法表

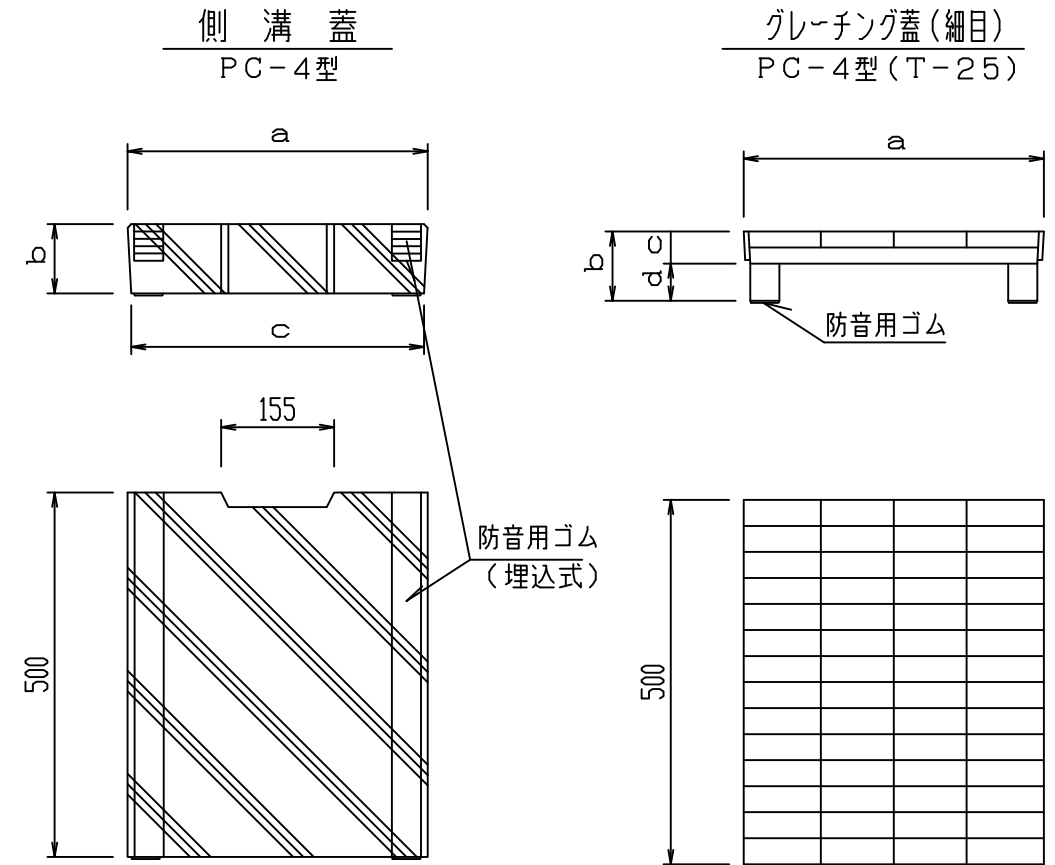
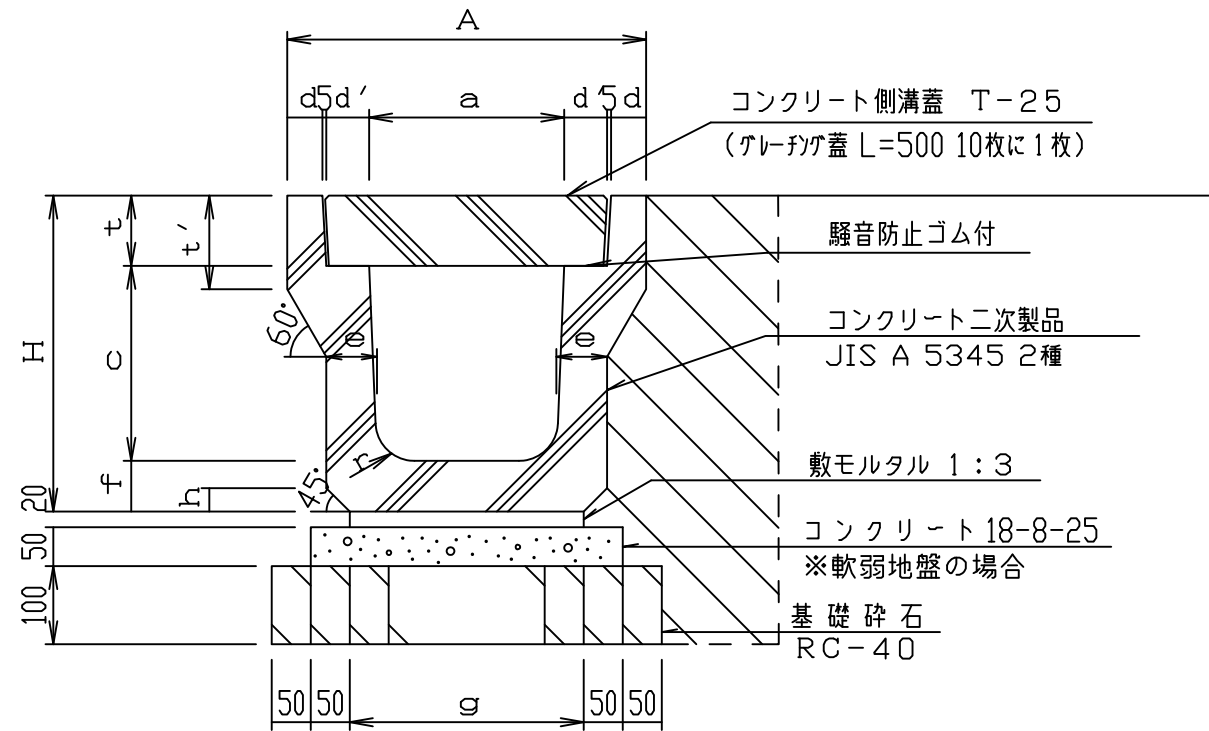
単位: mm

呼び名	A	H	a	c	d	d'	e	f	g	t	t'	L	呼び名
250	450	395	250	250	40	55	55	55	300	90	120	2000	250
300A	500	455	300	300			60	60	360	95			300A
300B		560	400	400			65	65	330				300B
300C		665	500	500			70	70	340				300C
400A	600	575	400	400			65	65	430	110			135
400B		680			440	400B							
500A	720	695	500	500	45	60	70	70	540	125	150	500A	
500B		800					550					500B	

＜注意事項＞

- ※グレーチング蓋は、側溝蓋(L=500mm)の10枚に1枚設置する。
- ※店舗等の出入口で表面排水が集中する区間は、グレーチング蓋を適宜設置する。
- ※敷調整のコンクリートを行う場合は、勾配0.5%以上、厚50mm以上とする。
- ※側溝の勾配は、0.3~10%とする。
- ※側溝工事特記仕様標準図(No.2-1)の仕様を遵守すること。

PU3型側溝（車道用・防音ゴム付）



側溝工PU3型 寸法表

単位：mm

呼び名	A	H	a	c	d	d'	e	f	g	t	t'	L	呼び名
250(A)	460	405	250	250	45	55	65	65	300	90	120	2000	250(A)
250B		460		300			70	70	305				250B
250C		510		350			75	75	305				250C
250D		565		400			80	80	305				250D
250E		605		450			90	90	315				250E
250F		670		500			95	95	320				250F
250G		720		550			100	100	325				250G
250H		780		600			105	105	330				250H
250I		885		700			110	110	340				250I
250J		990		800			115	115	350				250J
300A	520	465	300	300	50	55	70	70	360	95	145	2000	300A
300B		565		400			80	80	340				300B
300C		675		500			90	90	330				300C
300D		785		600			95	95	340				300D
300E		890		700			100	100	350				300E
300F		995		800			105	105	350				300F
300G		1100		900			110	110	350				300G
300H		1205		1000			115	115	350				300H

寸法表

単位：mm

呼び名	a	b	c
250	362	90	352
300	412	95	402

寸法表

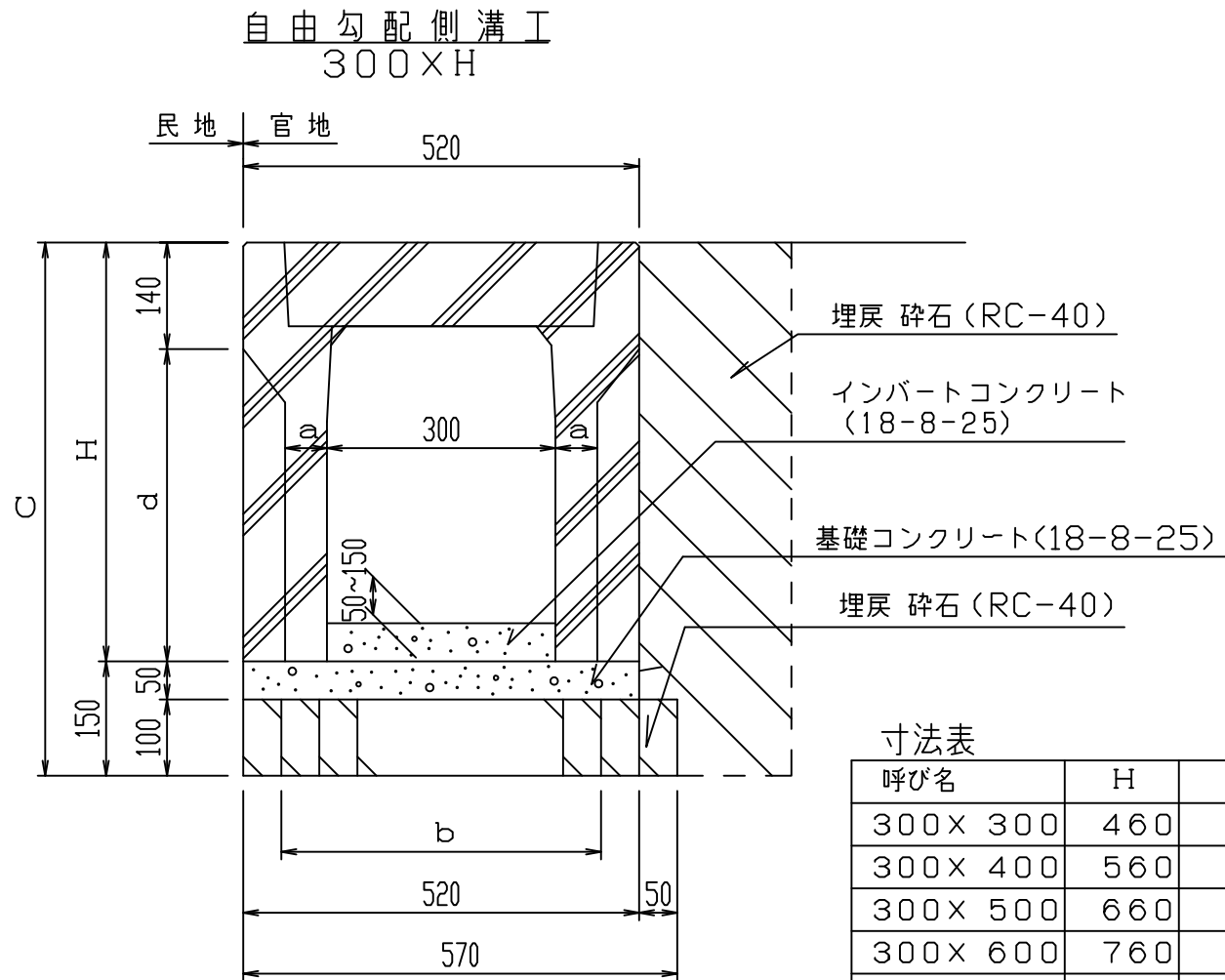
単位：mm

呼び名	a	b	c	d
250	362	90	44	46
300	412	95	44	51

< 注意事項 >

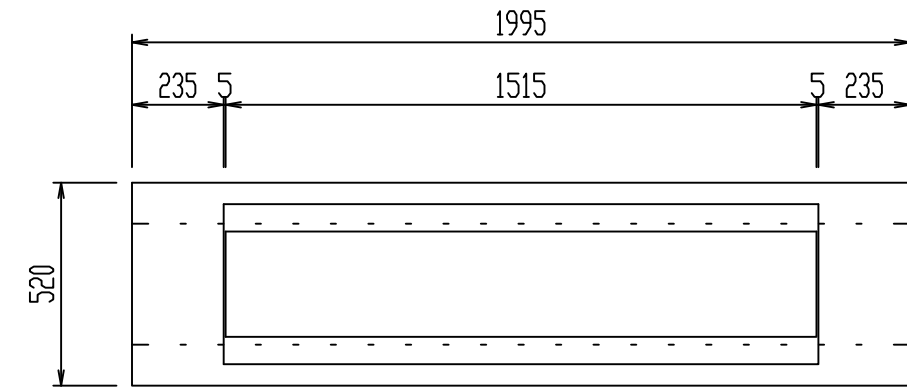
- ※グレーチング蓋は、側溝蓋（L=500mm）の10枚に1枚設置する。
- ※幹線道路の車道部は、普通目とする。
- ※店舗等の出入口で表面排水が集中する区間は、グレーチング蓋を適宜設置する。
- ※敷調整のコンクリートを行う場合は、勾配0.5%以上、厚50mm以上とする。
- ※側溝の勾配は、0.3~10%とする。
- ※側溝工事特記仕様標準図(No.2-1)の仕様を遵守すること。

自由勾配側溝 (W=300・防音ゴム付)

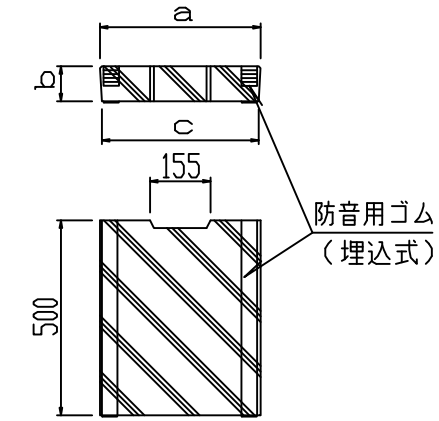


寸法表 単位: mm

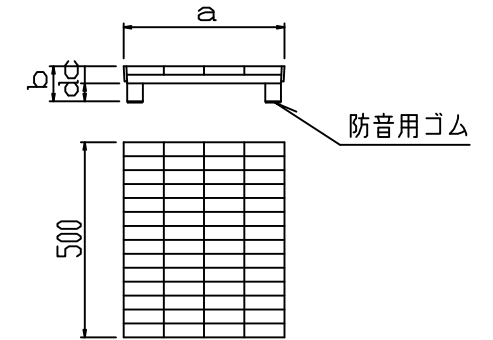
呼び名	H	a	b	c	d
300×300	460	55	410	600	320
300×400	560	55	410	700	420
300×500	660	55	410	800	520
300×600	760	65	430	900	620
300×700	860	65	430	1000	720
300×800	960	75	450	1100	820
300×900	1060	75	450	1200	920
300×1000	1160	85	470	1300	1020
300×1100	1260	85	470	1400	1120



側溝蓋 PC-4型



グレーチング蓋(細目) PC-4型(T-25)



寸法表 単位: mm

呼び名	a	b	c
300	412	95	402

寸法表 単位: mm

呼び名	a	b	c	d
300	412	95	44	51

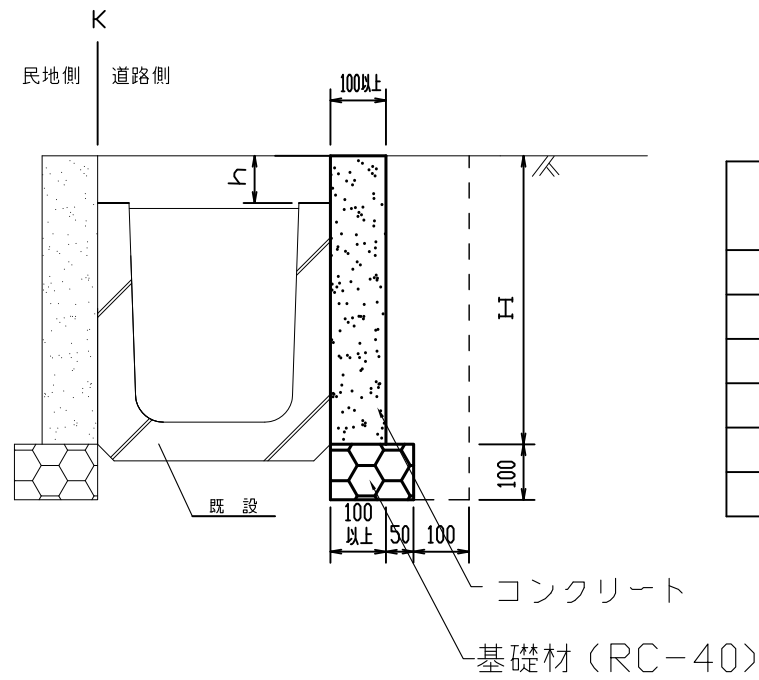
材料数量表 10m当たり

規格	側溝	コンクリート蓋	グレーチング	コンクリート	型枠	インバート	基礎砕石	床堀	埋戻砕石	残土
	L=1000	L=500	L=500			コンクリート	RC-40		RC-40	
単位	個	枚	枚	m ³	m ²	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³
300×250	5	13	2	0.26	0.5	0.3	0.57			
300×300	5	13	2	0.26	0.5	0.3	0.57			
300×400	5	13	2	0.26	0.5	0.3	0.57			
300×500	5	13	2	0.26	0.5	0.3	0.57			
300×600	5	13	2	0.26	0.5	0.3	0.57			
300×700	5	13	2	0.26	0.5	0.3	0.57			
300×800	5	13	2	0.26	0.5	0.3	0.57			
300×900	5	13	2	0.26	0.5	0.3	0.57			
300×1000	5	13	2	0.26	0.5	0.3	0.57			
300×1100	5	13	2	0.26	0.5	0.3	0.57			

<注意事項>

- ※グレーチング蓋は、側溝蓋(L=500mm)の10枚に1枚設置する。
- ※店舗等の出入口で表面排水が集中する区間は、グレーチング蓋を適宜設置する。
- ※敷調整のコンクリートを行う場合は、勾配0.5%以上、厚50mm以上とする。
- ※側溝の勾配は、0.3~10%とする。
- ※側溝工事特記仕様標準図(No.2-1)の仕様を遵守すること。

側溝補強

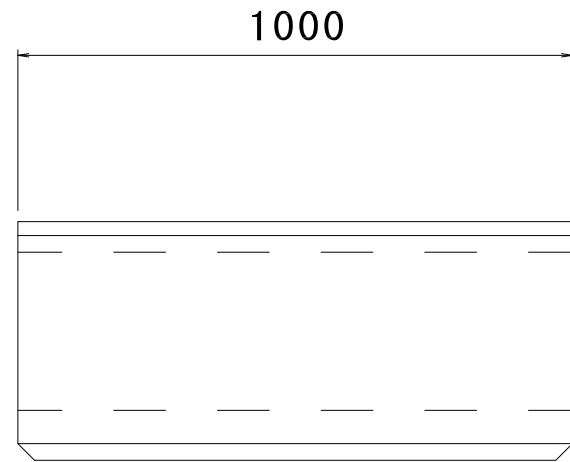
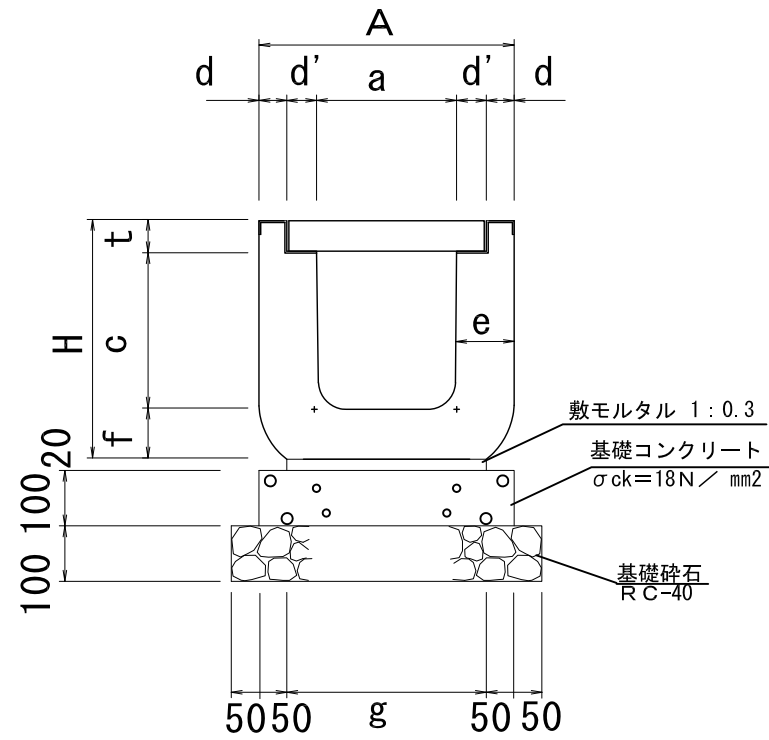


呼び名	h (mm)	掘削深H (mm)
U-240	0	290
U-240	85	375
U-300B	0	360
U-300B	85	445
U-300C	0	425
U-300C	85	510

<注意事項>

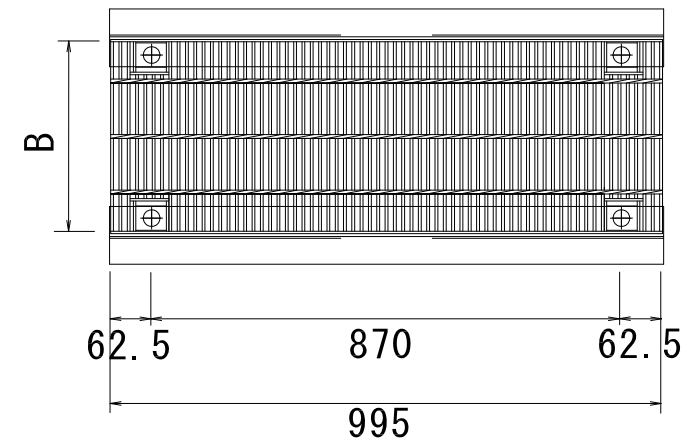
- ※ 乗入部等で、側溝を既存利用する際に適用する工法であり、民地側も同様に補強したほうが望ましい。
なお、既設利用の工法であるため、新設では認めない。
- ※ 原則、h=0mmまたは85mmの場合に限る。

横断側溝



【グレーチング蓋】

細目
(T-25・四方ボルト固定)



※ 幹線道路支線部、大型車両乗入部、狭あい道路沿線等では、必要に応じてスリットタイプの側溝を検討する。

横断側溝 寸法表

単位：mm

呼び名	A	H	a	c	d	d'	e	f	g	t	L	B
250A	460	450	254	296	43	60	103	110	254	44	1000	250
250B		500		346								
250C		600		446								
250D		700		546								
250E		800		646								
250F		910		746								
250G		1010		846				120				

横断側溝 寸法表

単位：mm

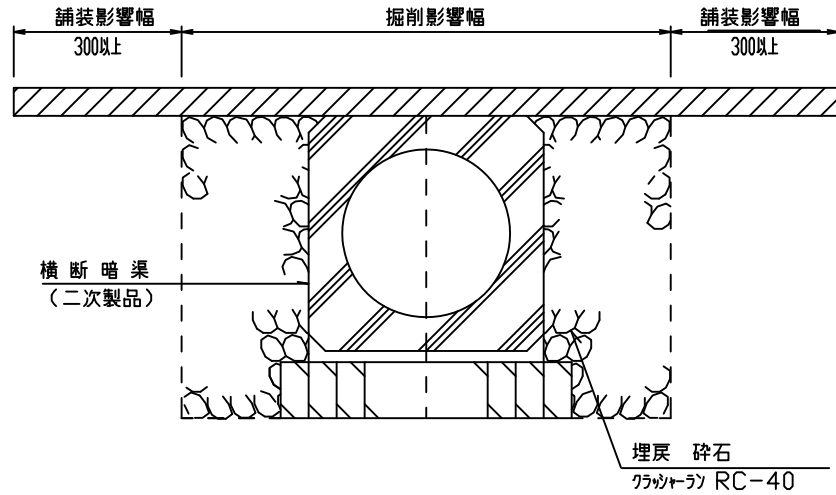
呼び名	A	H	a	c	d	d'	e	f	g	t	L	B
300A	525	510	300	345	55	57	112	110	300	55	1000	300
300B		610		445								
300C		710		545								
300D		820		645								
300E		920		745								
300F		1020		845								
300G		1120		945				120				

＜注意事項＞

- ※グレーチング蓋は細目を基本とするが、地形によっては普通目を使用する場合がある。
- ※横断側溝の起終点部には、集水柵を設置する。
- ※敷調整のコンクリートを行う場合は、勾配0.5%以上、厚50mm以上とする。
- ※側溝の勾配は、0.3~10%とする。
- ※ここで示す横断側溝は、一例であるため、宅地開発工事及び承認工事等で施工する場合は 実際に使用する材料のカタログを添付すること。

横断暗渠・排水暗渠

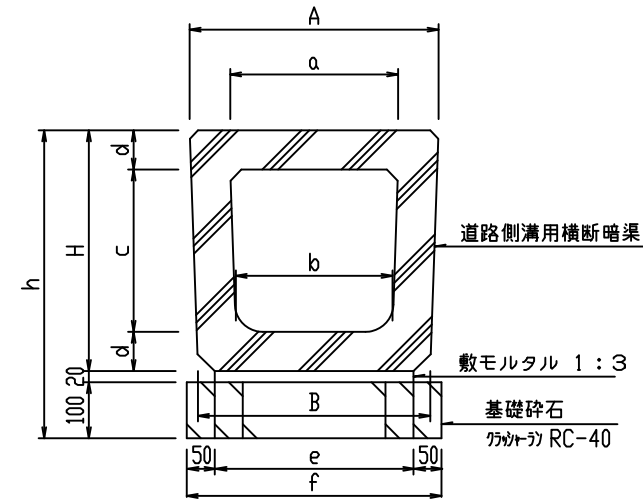
横断暗渠 標準断面図



横断暗渠工材料数量表 10m当たり

名称	規格	遠心BOX	基礎工	床堀	埋戻し	残土
		数t/m ³	RC-40	m ³	RC-40	m ³
単位	本	m ³	m ²	m ³	m ³	m ³
φ200	5.0	0.061	4.08			
φ250	4.1	0.072	4.62			
φ300	4.1	0.084	5.20			
φ350	4.1	0.095	5.78			
φ400	4.1	0.108	6.40			

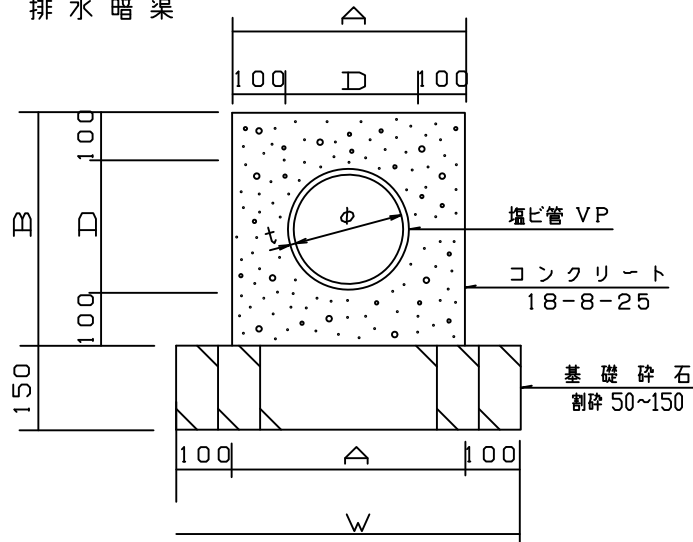
横断暗渠 B



横断暗渠工B 寸法表

呼び名	A	B	a	b	c	d	e	f	H	h
250	396	364	250	230	240	70	304	404	380	500
300A	445	415	300	280	290	70	355	455	430	550
300B	446	404	300	270	390	75	344	444	540	660
300C	446	394	300	260	490	75	334	434	640	760
400A	567	523	400	370	390	90	443	543	570	690
400B	567	513	400	360	490	90	433	533	670	790

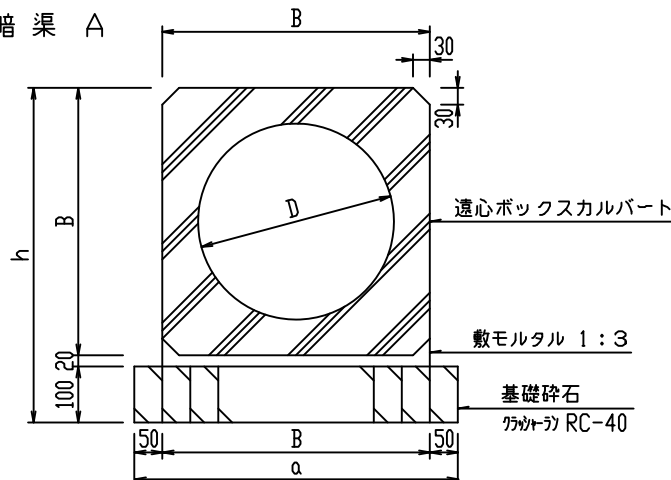
排水暗渠



排水暗渠工寸法表 単位:mm

呼径φ	外径D	厚さt	A	B	W
150	165	8.9	365	365	565
200	216	10.3	416	416	616

横断暗渠 A



横断暗渠工A 寸法表 単位:mm

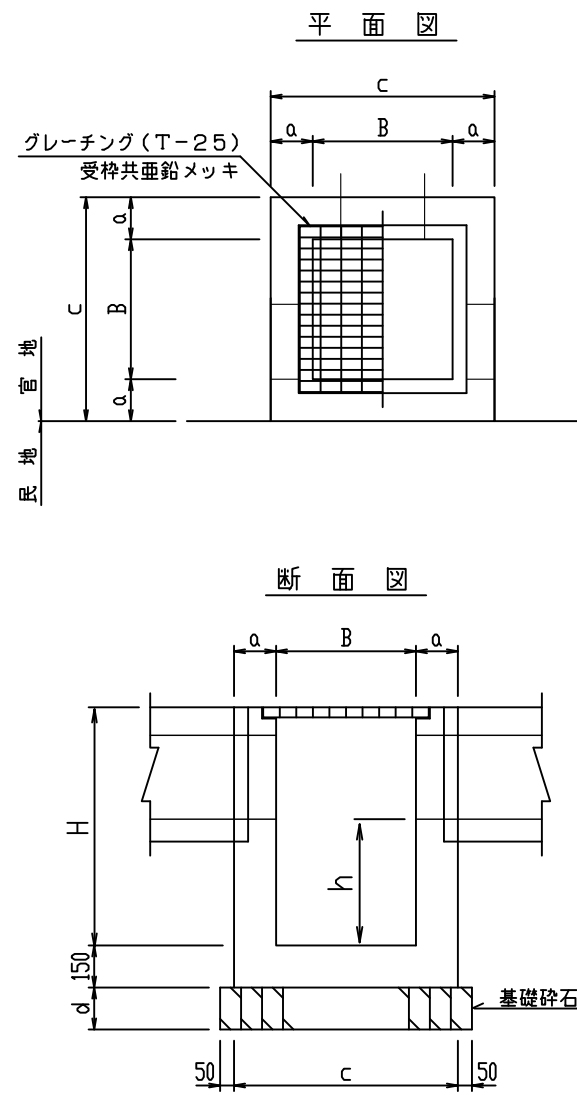
呼び名	D	B	a	h
150	150	254	354	374
200	200	308	408	428
250	250	362	462	482
300	300	420	520	540
350	350	478	578	598
400	400	540	640	660

<注意事項>

※軟弱地盤の場合は、基礎コンクリートを打設する。

集水樹

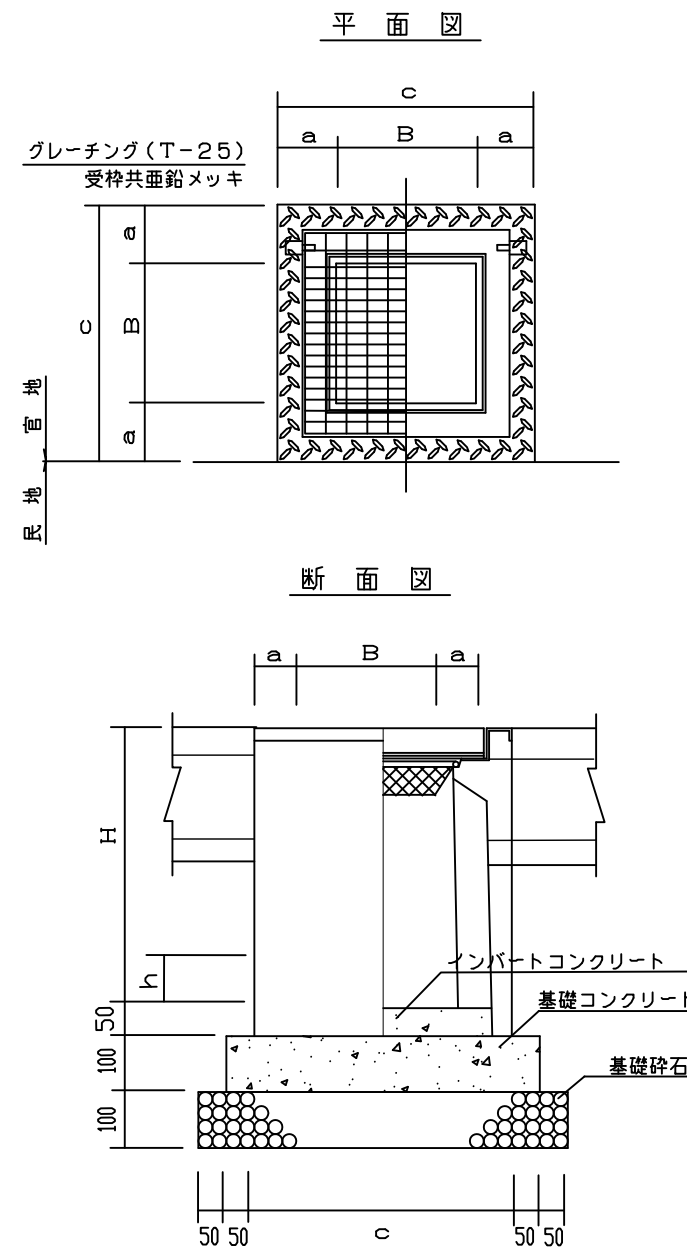
集水樹



寸法表 単位: mm

号型	B	H	a	c	d	h
1	500	H < 700	120	740	150	150 以上
		700 ≤ H ≤ 1000	150	800		
2	600	H < 800	120	840	150	
		800 ≤ H ≤ 1000	150	900		
3	700	H ≤ 1000	150	1000	150	
4	800	H < 1200	150	1100	200	
		1200 ≤ H ≤ 2000	200	1200		
5	900	H < 1200	200	1300	200	
		1200 ≤ H ≤ 2000				
6	1000	H < 1200	200	1400	200	
		1200 ≤ H ≤ 2000				
7	1100	H < 1400	200	1500	200	
		1400 ≤ H ≤ 2000				
8	1200	H < 1400	200	1600	200	
		1400 ≤ H ≤ 2000				
9	1300	H < 1600	200	1700	200	
		1600 ≤ H ≤ 2000				
10	1400	H < 1600	200	1800	200	
		1600 ≤ H ≤ 2000				
11	1500	H < 1800	200	1900	200	
		1800 ≤ H ≤ 2000				

PU樹

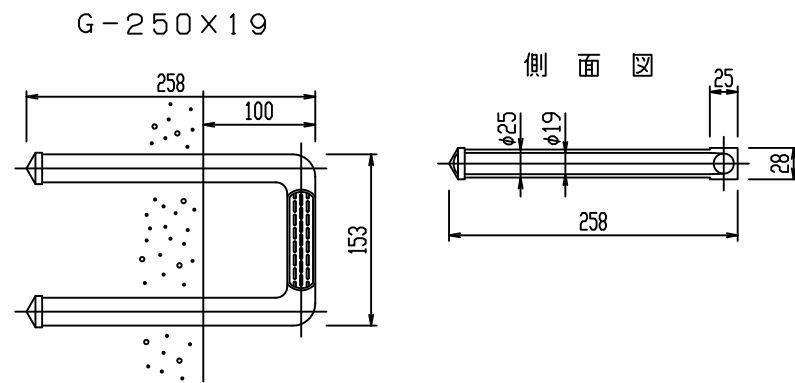


寸法表 単位: mm

号型	B	H	a	c	h
1	250	H < 1000	105	460	150 以上
2	300		110	520	
3	400		115	630	
4	500		125	750	

足掛金具

(H ≥ 1000の場合)



現場打コンクリート用配置図

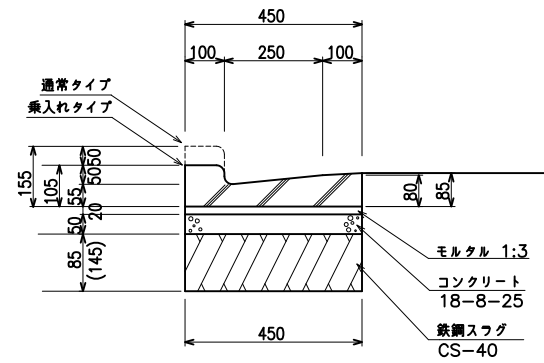
芯材-ダクタイル鑄鉄 (FCD-60)
被覆-ポリプロピレン樹脂 (PP)

<注意事項>

- ※路肩に設置する場合は、110°ヒンジ開閉タイプとする。
- ※車両が頻繁に乗る場合は、ボルト固定タイプとする。
- ※樹の深さが1 m以上の場合は、足掛金具を設置すること。
また、足掛金具を設置する場合は、内寸を800以上確保すること。
- ※グレーチング蓋は防音型とし、細目、取っ手付を使用すること。
- ※街路樹がある路線でPU樹を使用する場合、カゴ(フィルター)を設置すること。

┌型側溝・┌型柵

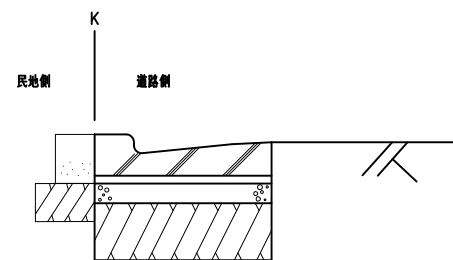
┌型側溝



<注意事項>

- * 乗入れタイプを標準とする。
- * ┌型側溝の端部は突き出たりしないよう面取りすること。
- * 有筋仕様のものとする。
- * 新設する場合は、防草タイプのものを検討する。
- * ┌型側溝と集水柵を接続する場合は、┌型柵を間に設け、接続すること。

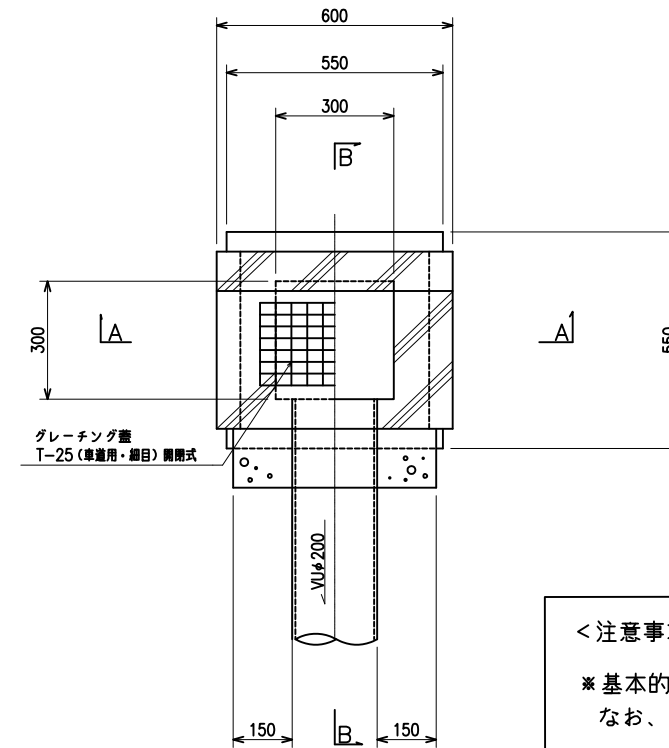
┌型側溝・┌型柵 補強工



<注意事項>

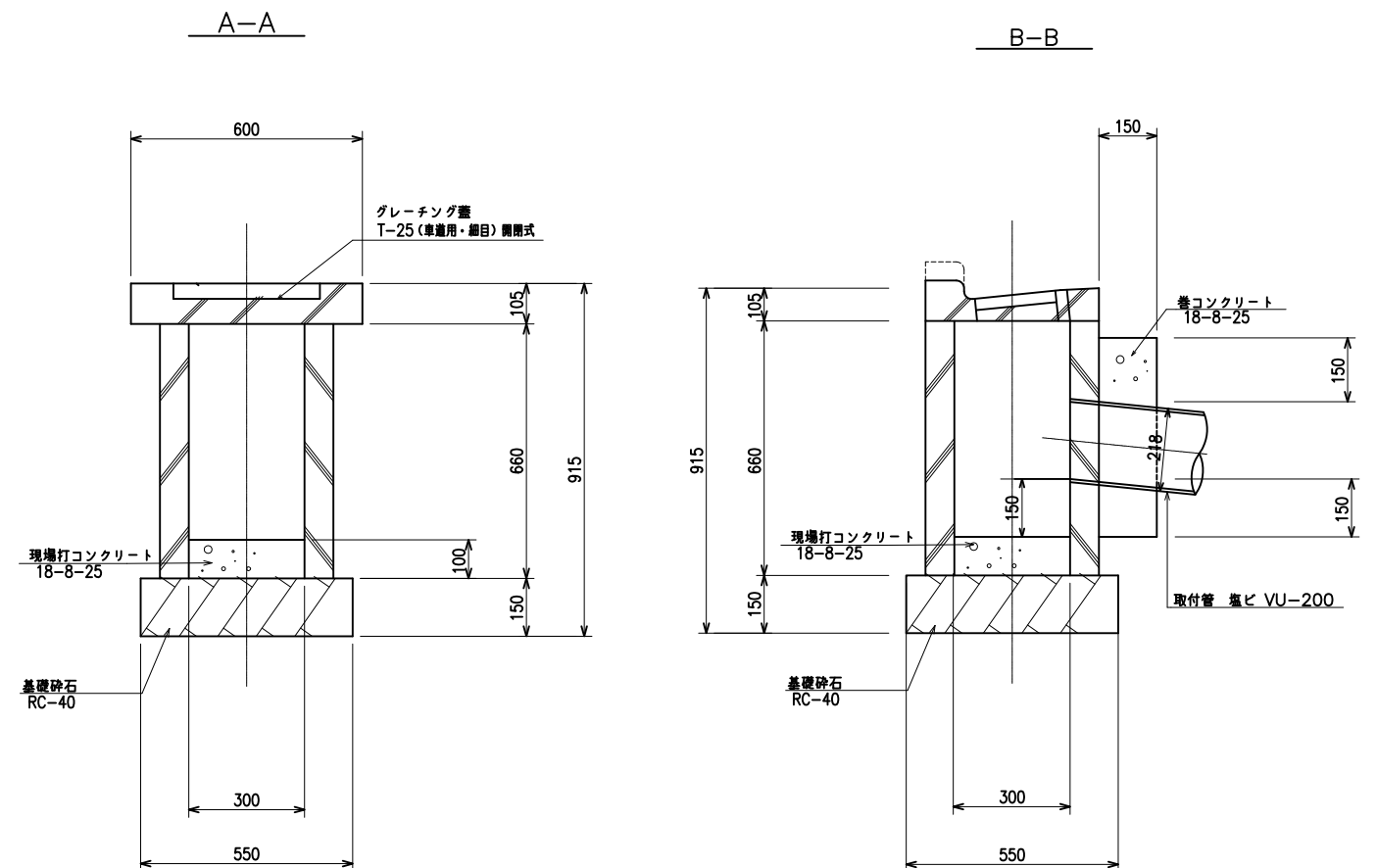
- * 乗入れタイプを使用する場合、民地側を補強するのが望ましい。

┌型柵

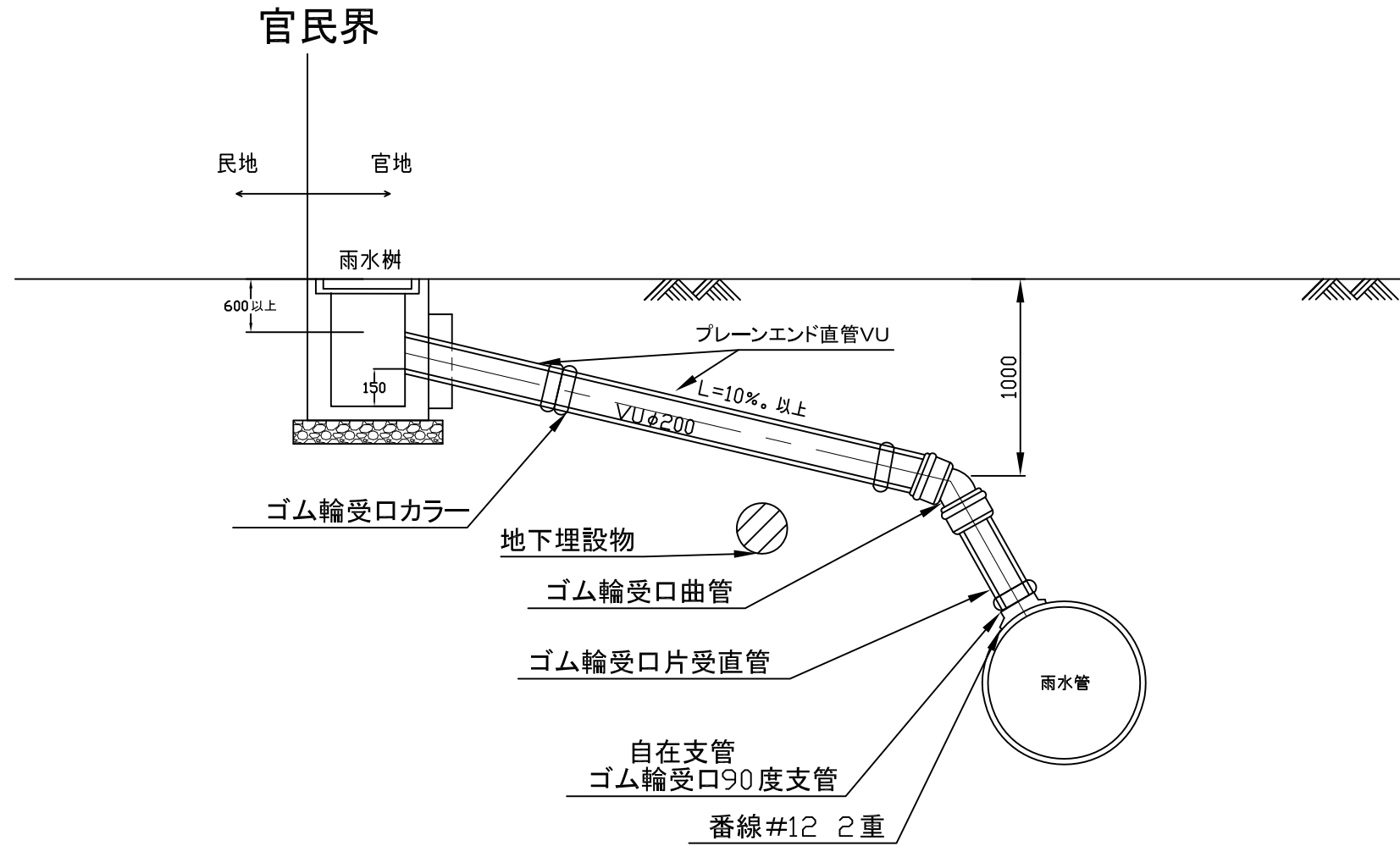


<注意事項>

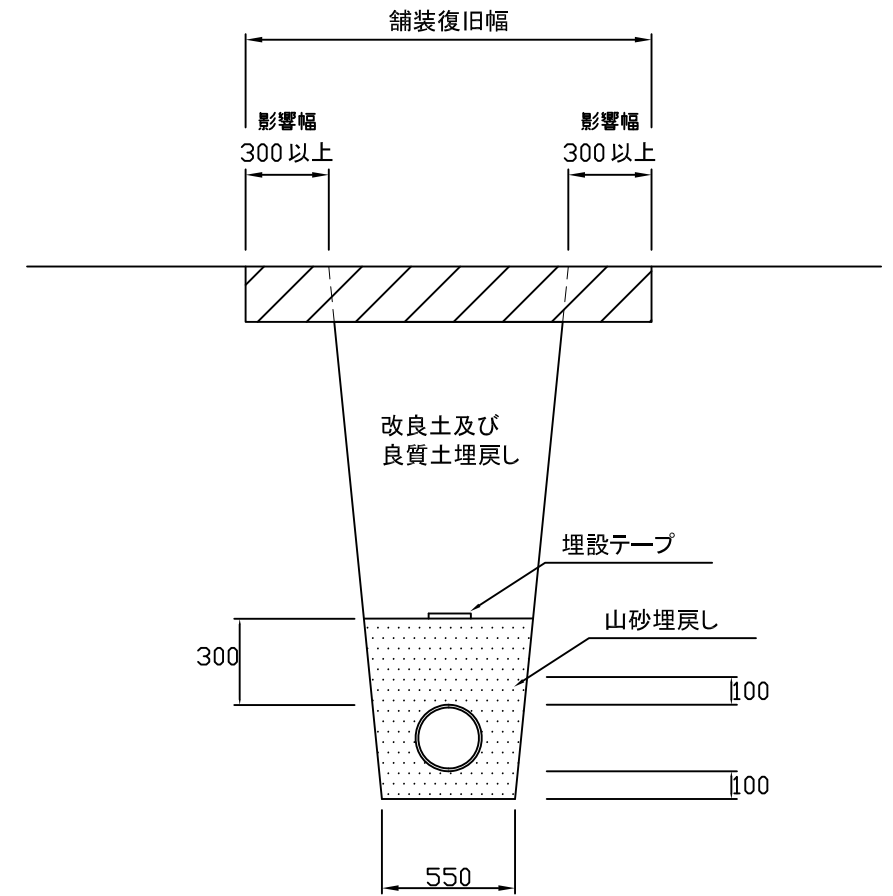
- * 基本的には細目を標準とするが、幹線道路の車道部は普通目とする。
- なお、ヒンジタイプとし、取っ手付のものを標準とする。



雨水取付管

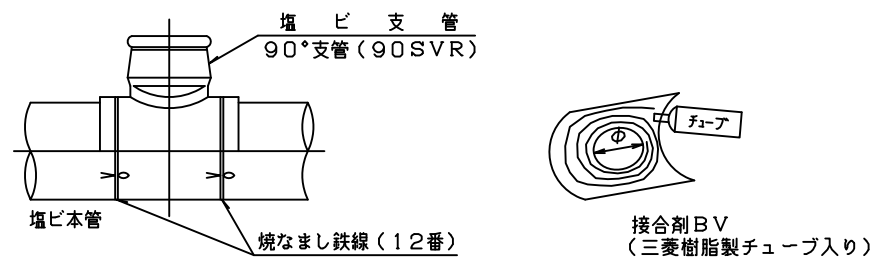


横断面図

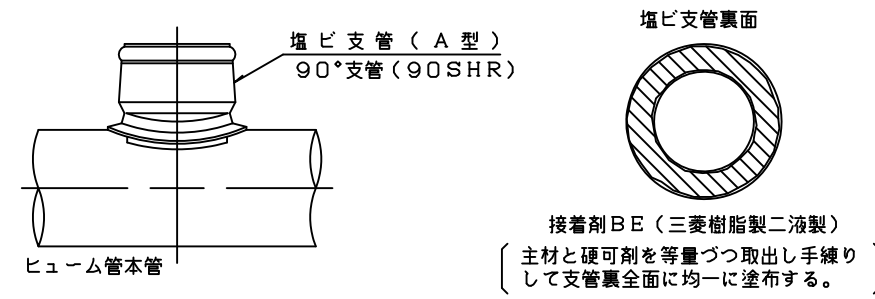


<注意事項>
 ※ 本管の穴あけは、せん孔機（ホルソー等）を使用する。
 ※ 継手類は管を接続した場合、管厚の異なる継手があるので、管の内面に段差や突起のないものを使用すること。
 ※ 地下埋設物との離隔は、地下埋設物の管理者に確認の上、離隔を確保すること。

(A) 塩ビ本管用塩ビ支管接合



(B) ヒューム管本管用塩ビ支管接合



街渠・街渠柵（1）

ブロック詳細図

(1) エプロン部詳細図

ブロック取替タイプにおいて、既設エプロン部分が使用できる場合は、敷きモルタル部分をはつり、モルタル及び切り下げブロックのみを施工すればよい。

現場打ち街渠を選択した場合は、歩道乗入部の舗装構造はセメントコンクリートを標準とする。

詳細図の寸法 t（エプロン厚）は、道路の大型車交通量と乗入口の規格により定まり、下表のとおりである。

エプロン厚t		N3 (L交通)	N4 (A交通)	N5 (B交通)	N6 (C交通)	N7 (D交通)
交通量の区分						
大型車交通量 (台/日・一方向)		100未満	100以上 250未満	250以上 1,000未満	1,000以上 3,000未満	3,000以上
A型乗入口		150mm		200mm	250mm	
B型乗入口		200mm			250mm	
C型乗入口		200mm			250mm	

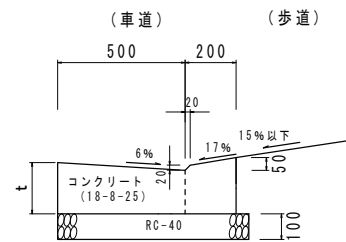
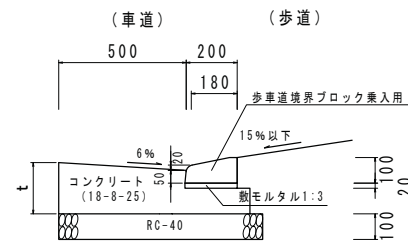
前後の既設街渠の形状・寸法から標準形状によることが不適当な場合は、これに準じた構造とすることができる。その場合、その構造となった理由を明記するとともに、別途図面を作成して申請書類に添付すること。

図A マウント式 歩車境ブロックの高さ20cm

※次頁注意事項参照

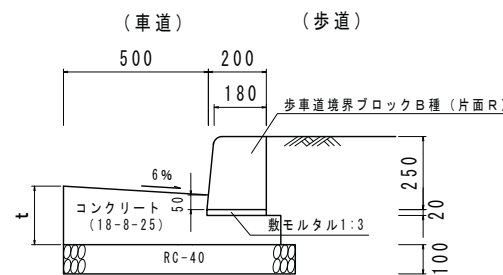
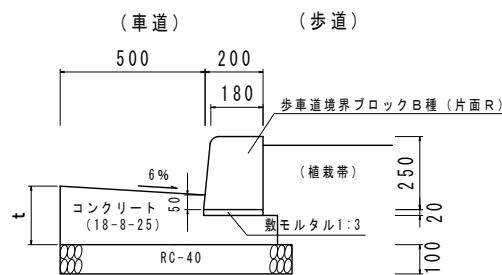
乗入口部（ブロック取替タイプ）

乗入口部（全面打替タイプ）



歩道復旧部（乗入口封鎖等）植栽帯あり

歩道復旧部（乗入口封鎖等）植栽帯なし

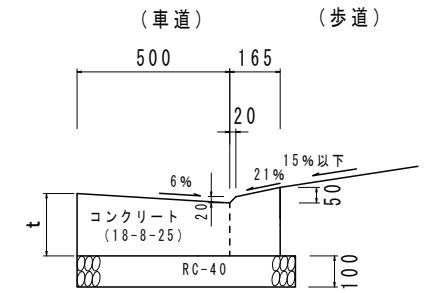
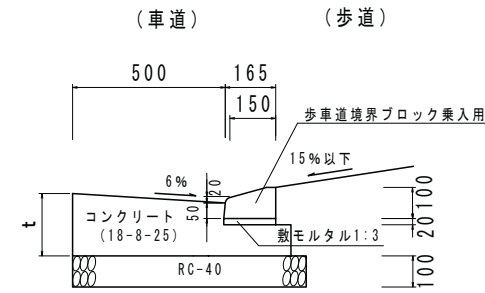


図B マウント式 歩車境ブロックの高さ15cm

※次頁注意事項参照

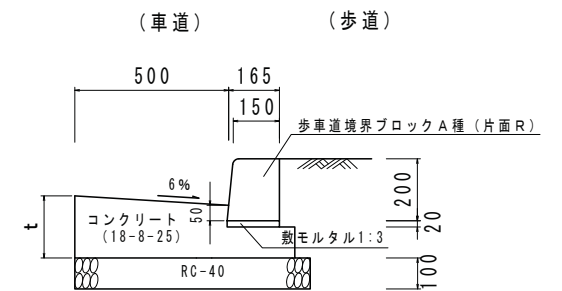
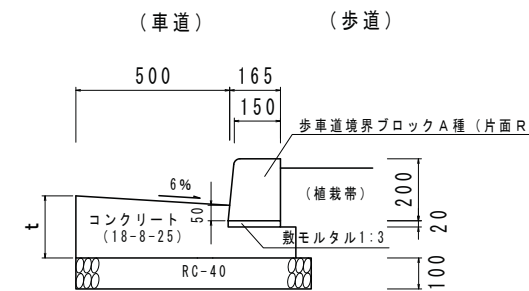
乗入口部（ブロック取替タイプ）

乗入口部（全面打替タイプ）



歩道復旧部（乗入口封鎖等）植栽帯あり

歩道復旧部（乗入口封鎖等）植栽帯なし

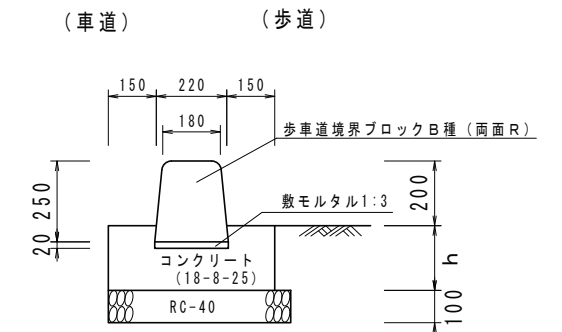
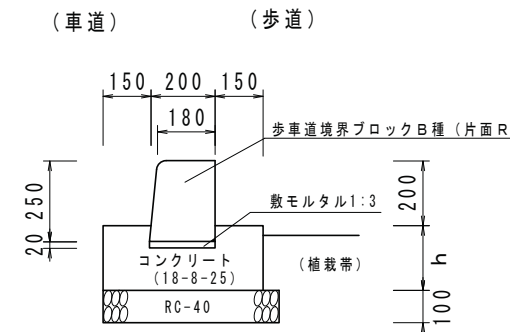


図C フラット式

※次頁注意事項参照

歩道復旧部（乗入口封鎖等）植栽帯あり

歩道復旧部（乗入口封鎖等）植栽帯なし

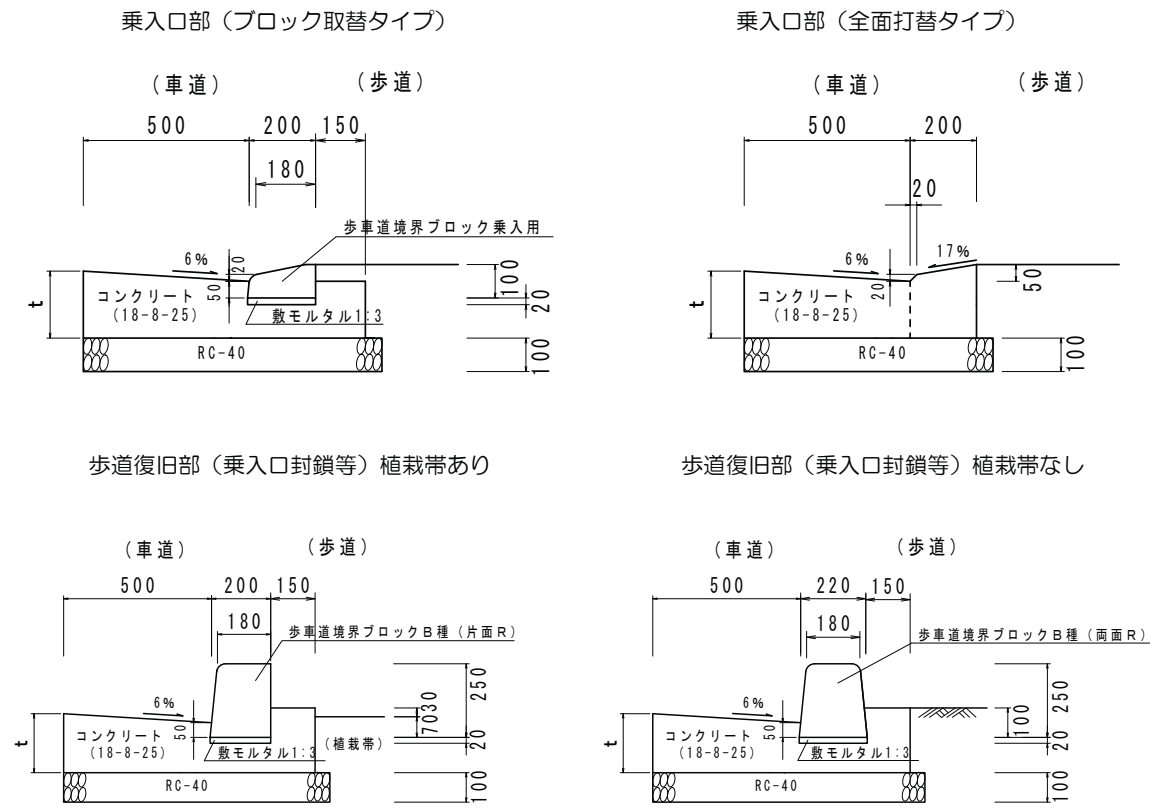


詳細図の寸法hは、既設舗装にカッターを入れて設置する場合の寸法としてh=12cmとする。

街渠・街渠樹（2）

図D セミフラット式

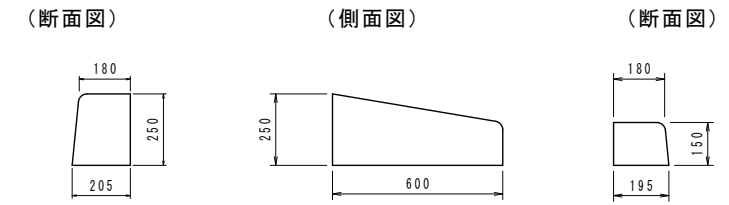
※注意事項参照



(2) 歩車道境界ブロック形状図

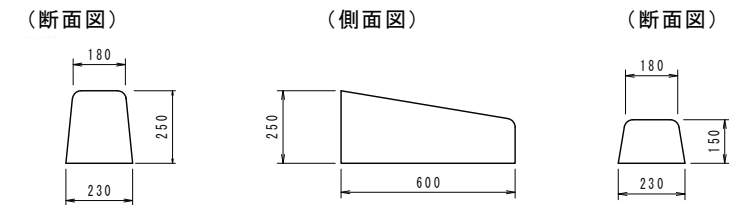
B種 (片面R)

- 【対象歩道形状】
- ・フラット式またはセミフラット式
- ・植栽帯あり



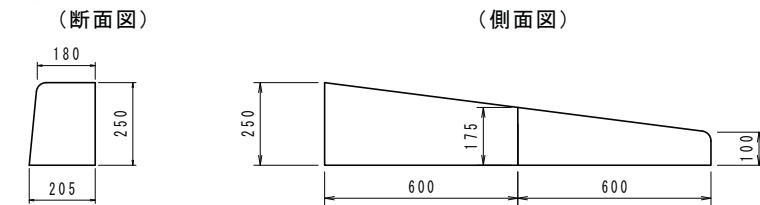
B種 (両面R)

- 【対象歩道形状】
- ・フラット式またはセミフラット式
- ・植栽帯なし



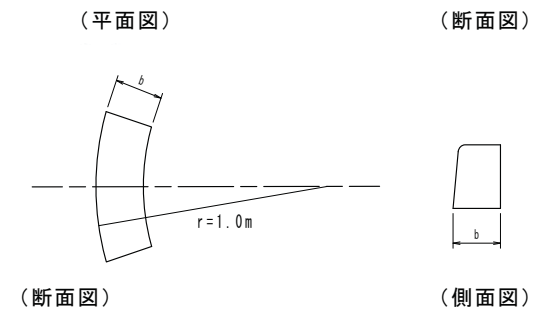
2段落とし

- 【対象歩道形状】
- ・マウント式
- ・植栽帯なし
- ・歩車境ブロックの高さ20cm



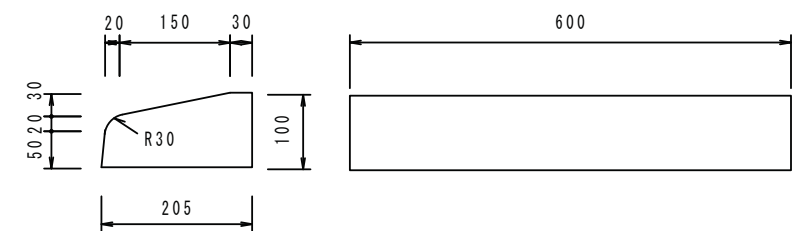
曲線

- 【対象歩道形状】
- ・マウント式
- ・植栽帯あり



乗入用ブロック

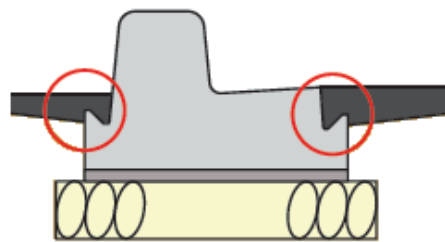
- 【対象歩道形状】
- ・マウント式またはセミマウント式



<注意事項>

※街きょブロックで二次製品を使用する場合は、防草タイプを検討する。
(下図 (参考図) 参照)

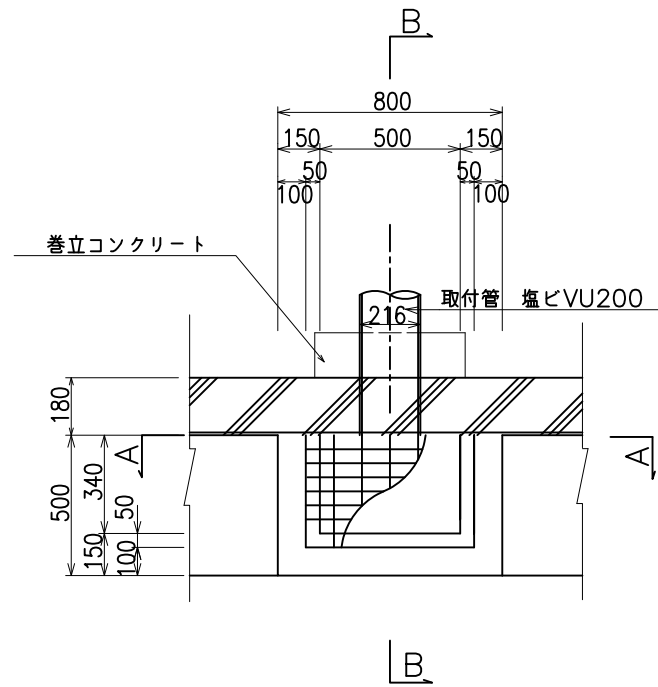
(参考図)



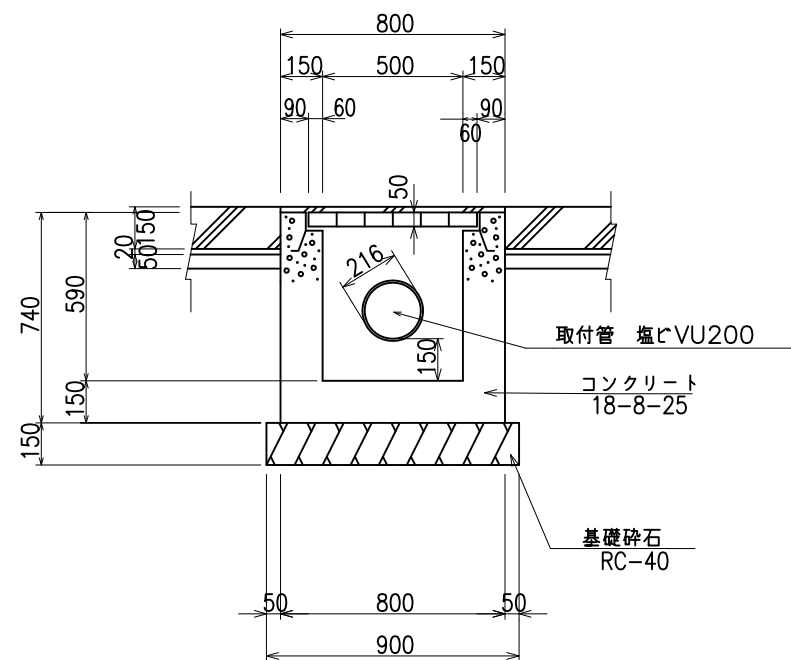
街渠・街渠柵(3)

街渠柵

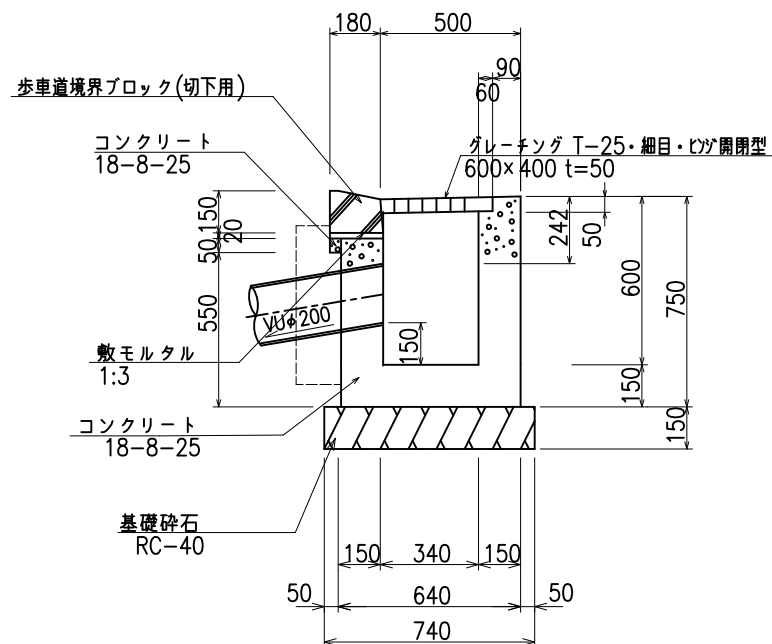
平面図



A-A



B-B

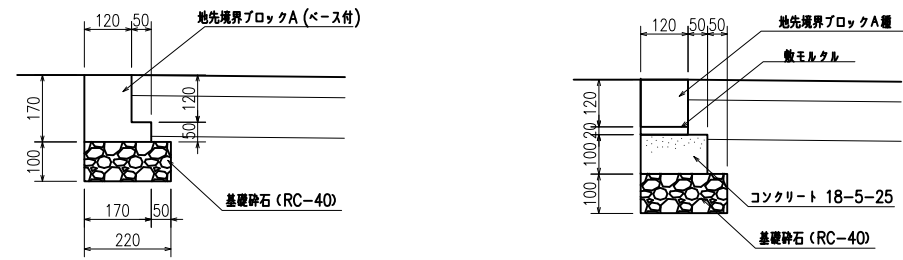


<注意事項>

- * 路肩に設置する場合は、110°ヒンジ開閉タイプとする。
- * 車両が頻繁に乗る場合は、ボルト固定タイプとする。
- * 幹線道路の車道部に設置する場合は、普通目とする。
- * グレーチング蓋は防音型とし、細目、取っ手付を使用すること。

地先境界(植栽)ブロック・視線誘導標

地先境界(植栽)ブロック



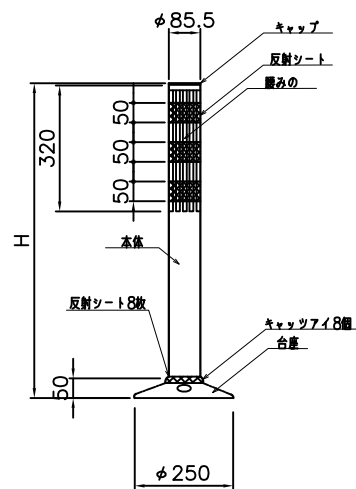
<注意事項>

※大型車両が乗入れする箇所で、乗入部をコンクリート舗装する場合は、舗装と一体の施工とする。

視線誘導標(ラバーポール)

視線誘導標 寸法表 単位:mm

H 高さ	台座	備考
400	250	歩道内で利用
650	250	歩道内で利用
800	250	車道内で利用



<注意事項>

※色彩は、原則、橙色とする。
 ※幹線道路では着脱式を標準とする。
 ※使用する場合は、カタログを添付すること。